令和６年度　２学期始業式　校長先生の話

この夏休み、パリオリンピックが盛り上がりました。感動する場面がたくさんありましたね。今から、校長先生が感動した選手を紹介します。

北口榛花選手です。やり投げでは、日本の選手で初めて金メダルをとりました。

阿部一二三選手です。妹のうた選手が負けた後、「妹の分まで戦い抜く」と言って金メダルをとりました。

スケートボードの四十住さくら選手です。思うような滑りができなくて、決勝に残るには、他の選手の失敗を待つしかありません。でも四十住選手は、「人の失敗は祈りたくない」と言って、他の選手を全力で応援しました。

みなさんは、どの選手、どの場面に感動しましたか。今度、校長先生に教えてくださいね。

そんなオリンピックの多くの選手たちが、大会前のインタビューに答えていた言葉があります。それは、「オリンピックを楽しみたい。」です。「楽しむ」という言葉は、人の気持ちを前向きにする素敵な言葉だと校長先生は思っています。

今日からいよいよ２学期のスタートです。皆さんには、この２学期、「学校を楽しもう」という気持ちで生活してほしいと思います。この「楽しもう」には、「自分から楽しもう」という意味が込められています。そこで、学校を自分から楽しむ方法を、今から２つ紹介します。

一つは、「チャレンジ」です。この言葉は、校長先生がよく話す言葉です。「やってみようかな、どうしようかな」と迷った時は、チャレンジする方を選んでみましょう。そうすると、気持ちが明るくなります。失敗しても「次頑張ればいいさ」と、前向きな気持ちになります。

もう一つの方法は、「良いところ見つけ」です。皆さんの教室では、「良いところ見つけ」のような活動をしていますか。友達の良いところを見つけると、友達がうれしくなるだけでなく、自分も明るい気持ちになります。お互いに良いところを見つけ合うと、教室の雰囲気も明るくなります。授業中や休み時間に、良いところ見つけをたくさんしてみてください。

今日は、「『学校を楽しもう』、そのために、『チャレンジ』『良いところ見つけ』をしよう。」という話をしました。２学期も元気いっぱいに過ごしましょう。